

授業科目	フィールドワーク入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO11501J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	<p>本学科の2学年以上の配当科目に「観光フィールドワーク」というものがある。同科目、あるいは4学年配当の「卒業研究」におけるフィールドワーク(以下、FW。日本語では野外調査、現地調査)に取り組む際、首尾よく行なえるよう、本科目はそれらに対する入門科目として橋渡しの役割を果たす。</p> <p>授業は教科書の輪読を行なう。フィールドワークの入門的な部分(目的、方法、調査、分析、分析結果、また、目的との整合性など)をしっかりと丁寧に確認し、理解の定着に努める。</p> <p>なお、本科目では期末試験は実施せず、レポートの評価を主とする講義への取り組みから成績付けを行なう。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1) 研究を行なうにあたり、問いを立てることができる。</p> <p>2) FWの目的と方法を理解することができる。</p> <p>3) FWの成果を分析、考察した上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)			20				20	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20				20	
思考・判断 (DP2-2)			20				20	
関心・意欲 (DP3-1)			20				20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)						10	10	
態度 (DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
問いとなる事象について、研究する必要性を十分に理解した上で、FWの目的と方法に説得性を持たせ、対象の現状と課題について考察することができる。その上で、実現性の高い新たな取り組みや付加価値を提案することができるようになる。				問いとなる事象について、研究する必要性を理解した上で、FWの目的と方法に説得性を持たせ、対象の現状と課題について考察することができる。その上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができるようになる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	・ガイダンス ・フィールドワークの目的			講義	復習		80	

2	・フィールドワークの方法	講義	復習	80
3	・フィールドワークの事例と理解 1(教科書より:「あでやかさの舞台裏」1 節、2 節)	講義	復習	80
4	・フィールドワークの事例と理解 2(教科書より:「あでやかさの舞台裏」3 節、4 節)	講義	復習	80
5	・フィールドワークの事例と理解 3(教科書より:「世界遺産富岡製糸場に関する女工の歴史」1 節、2 節)	講義	復習	80
6	・フィールドワークの事例と理解 4(教科書より:「世界遺産富岡製糸場に関する女工の歴史」3 節、4 節)	講義	復習	80
7	・フィールドワークの事例と理解 5(教科書より:「世界遺産富岡製糸場に関する女工の歴史」5 節、6 節)	講義	復習	80
8	・フィールドワークの事例と理解 6(教科書より:「現代『女子』観光事情」1 節、2 節)	講義	復習	80
9	・フィールドワークの事例と理解 7(教科書より:「現代『女子』観光事情」3 節、4 節)	講義	復習	80
10	・フィールドワークの事例と理解 8(教科書より:「現代『女子』観光事情」5 節、「地域で観光を支える女性」1 節、2 節)	講義	復習	80
11	・フィールドワークの事例と理解 9(教科書より:「地域で観光を支える女性」3 節、4 節)	講義	復習	80
12	・フィールドワークの事例と理解 10(教科書より:「地域で観光を支える女性」5 節、「東日本大震災の被災地における観光の変化とその担い手としての女性」1 節)	講義	復習	80
13	・フィールドワークの事例と理解 11(教科書より:「東日本大震災の被災地における観光の変化とその担い手としての女性」2 節の前半)	講義	復習	80
14	・フィールドワークの事例と理解 12(教科書より:「東日本大震災の被災地における観光の変化とその担い手としての女性」2 節の後半)	講義	復習	80
15	・フィールドワークの事例と理解 13(教科書より:「東日本大震災の被災地における観光の変化とその担い手としての女性」3 節) ・総まとめ	講義	復習	80
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃より新聞やインターネットなどで国内外のおもしろい事象とその動向を把握しておくこと。			
テキスト	友原嘉彦編(2017)『女性とツーリズム』古今書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・谷富夫・芦田徹郎編著 (2009) 『よくわかる質的社会調査 技法編』ミネルヴァ書房 ・谷富夫・山本努編著 (2010) 『よくわかる質的社会調査 プロセス編』ミネルヴァ書房 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業に興味を持ってくれたら、ぜひ図書館にある教員指定図書コーナーでさまざまな私の指定図書を読んでみてください。おもしろいものばかり取り揃えています。			
達成度評価に関するコメント	<p>文書や映像などから知り、実際に現地で触れたり、調べたりして、おもしろいことを提案できるようになりましょう。</p> <p>達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分なだけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっているなどした場合は得点の減少に繋がります。</p>			